

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	公益財団法人せたがや文化財団		
所在地	東京都世田谷区	設立年	2011年
運営主体	公益財団法人せたがや文化財団		
事業目標	演劇部が存在しない世田谷区内の中学校に通学する生徒を中心として「世田谷パブリックシアター演劇部」を設置し、質の高い文化芸術活動への参加機会を設定し、区立中学校演劇発表会における発表・共有の場を提供するとともに同発表会に参加する中学校演劇部の指導者に対する技術プランニング支援を実施する。		
きっかけ	区立中学校29校のうち8校にしか演劇部が存在しておらず、さらに減少する恐れも大きいという現状に危機感を抱き、せたがや文化財団(世田谷パブリックシアター)が主体となって地域の受け皿となる事業の必要性を認識したことがきっかけとなった。		
団体・組織等の連携	世田谷区教育委員会、世田谷区立中学校長会、世田谷区立中学校教育研究会(世中研)と緊密な連携をとって事業を実施した。		
活動場所	世田谷パブリックシアター稽古場 世田谷区立砧中学校ランチルーム		
活動概要	「世田谷パブリックシアター演劇部」は16回のワークショップ(区大会当日、振り返りを含む)を実施し、その中で創作した作品を令和4年10月29日、30日に実施された「第51回世田谷区立中学校演劇発表会」において発表した。また、同発表会に参加した区立中学校6校の演劇部に対し、演出・技術プランニング支援を実施した。		

## ○本事業による成果

演劇部が存在しない学校の生徒に演劇部活動の機会を提供することができた。演劇部は、不登校の生徒の居場所として機能している部分があるが、そうしたシェルターが存在しない学校の生徒に対して、同様の機能を提供することが可能となった。また、演出・技術プランニング支援により、専門的な知識・技術がない顧問の教員の負担を大幅に軽減することができた。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

世田谷パブリックシアターにおいて経験を積んだ若手の進行役に指導を依頼し、生徒たちとの距離を縮める工夫をおこなっている。メインとなる秋のコースには1名の主任進行役に加え、サブの進行役を配し、きめ細かな指導をおこなう体制を整えた。実際の進行にあたっては、コーディネーターも積極的にワークショップに参加し、一人一人の生徒に目が届くように配慮した。

## ○運営上の工夫

会場として、演劇・舞踊の専門施設である世田谷パブリックシアター稽古場と、生徒たちが身近に感じ、リラックスして取り組むことができる学校施設(世田谷区立砧中学校ランチルーム)とを組み合わせ使用した。また、演出・技術プランニング支援には、舞台技術のプロである世田谷パブリックシアター技術部のスタッフが全面的に参画し、ノウハウを具体的に伝える工夫を凝らした。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

事業実施にあたっては、世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部および世田谷区教育委員会と綿密に協力・連携をおこなった。両者が主催する区立中学校演劇大会に、区立中学校6校とともに「世田谷パブリックシアター演劇部」が出演し、審査委員からの講評を受けた。また、会場として世田谷区立砧中学校の施設を利用する際にも、両者からの支援があった。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

世田谷区内に学識経験者、区立中学校校長・教員、保護者代表、区職員等で構成される「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会」が設置され、せたがや文化財団もこれに参画している。同委員会は令和4年10月、12月、令和5年1月、2月とすでに4度の会合をもち、学校部活動の地域移行の具体的方策を議論している。その中で、本年度実施したスキームをもとに、令和5年度には公益財団法人せたがや文化財団が世田谷区教育委員会から受託する形で引き続き地域移行のパイロット事業として展開する方向で検討がおこなわれている。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	59名
	学校名	世田谷区立 三宿中学校、八幡中学校、玉川中学校、駒沢中学校、富士中学校、深沢中学校、千歳中学校、上祖師谷中学校、瀬田中学校 他
	募集方法	初夏、夏、秋のそれぞれのフェーズにおいて公募を実施。以下の方法で広報をおこなった。 ・世田谷区内の全区立中学校へのチラシ配布 ・世田谷パブリックシアターホームページでの情報提供
指導者	人数等	フリーランス ワークショップ進行役3名、舞台技術者2名、NPO法人職員(演出家)1名 計7名
	募集方法	世田谷パブリックシアターがワークショップ進行や演出プランニングを委託し、優秀な実績をあげている指導者の中から、本事業の実施に最も適すると思われる者を選抜して契約した。
参加者の移動手段		公共交通機関
活動費用	指導者謝金等	ワークショップ指導者謝金 5,100円/時間(交通費込み) 演出プランニング支援指導者謝金 10,000円/時間(交通費込み)
	その他	コーディネーター業務料 1,170円/時間 舞台監督助手業務料 71,277円(区大会準備・当日の業務一式) 大道具・小道具等材料費 61,259円 音響・照明・映像記録業務等 455,015円(区大会準備・当日の業務一式)
活動財源	会費	参加費 初夏:500円 夏:1500円 秋:8000円
	その他	公益財団法人せたがや文化財団自己資金 世田谷区教育委員会からの技術支援業務料
スケジュール	基本活動	初夏:2022年6月19日(日)14~17時 夏:Aコース8月2日(火)~4日(木)14時30分~17時30分 Bコース8月23日(火)~25日(木)14時30分~17時30分 秋:8月27日(土)、8月28日(日)、9月4日(日)、9月18日(日)、9月19日(月祝)、9月25日(日)、10月1日(土)、10月2日(日)、10月9日(日)、10月10日(月祝)、10月16日(日)、10月22日(土)、10月23日(日)、10月29日(土)=リハーサル、10月30日(日)=区大会、11月13日(日)
保険加入等		包括リクリエーション保険 44円/回/人 公益財団法人せたがや文化財団にて契約、保護者負担なし

## 【活動の様子（写真添付）】



初夏のワークショップ(6月19日)  
会場:世田谷パブリックシアター稽古場



初夏のワークショップ(6月19日)  
会場:世田谷パブリックシアター稽古場



夏休みワークショップ(Aコース、8月2～4日)  
会場:世田谷パブリックシアター稽古場



夏休みワークショップ(Bコース、8月23～25日)  
会場:世田谷パブリックシアター稽古場



秋のワークショップ(10月2日～11月13日)  
会場:世田谷パブリックシアター稽古場



秋のワークショップ(10月2日～11月13日)  
会場:世田谷区立砧中学校ランチルーム



第51回世田谷区立中学校演劇発表会(10月30日)  
終了後、主催者から賞状の授与



第51回世田谷区立中学校演劇発表会(10月30日)  
発表会后、指導者、コーディネーターとともに